

(9) 中国



中国地域では、景気は弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。
- ・ 個人消費は底堅く推移している。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

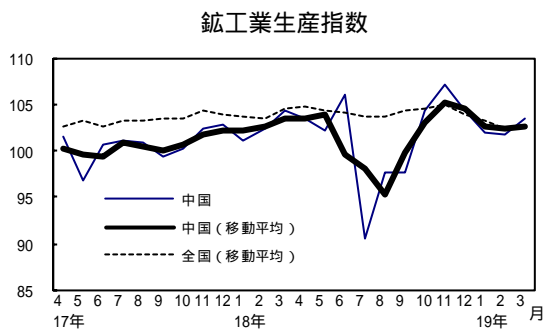
前回からの主要変更点

	前回(平成31年2月)	今回(令和元年5月)	
景況判断	緩やかな回復基調	弱さがみられるものの、 <u>緩やかな回復基調</u>	
鉱工業生産	持ち直しの動き	<u>おおむね横ばい</u>	
個人消費	持ち直しの動き	<u>底堅く推移</u>	

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。

1 - 3月期には、輸送機械は、輸出の減少や新型車への生産切替のため普通乗用車等が減少した。汎用・生産用・業務用機械は、印刷機械等が減少した。化学は、塩化ビニルモノマー等が減少した。電子部品・デバイス、海外市場の影響で固定コンデンサ等が減少した。食料品・たばこは、減少した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比)(%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		10 - 12 月期	1 - 3 月期	1月	2月	3月
輸送機械	23.2	21.8	5.3	4.2	2.1	5.9
汎用・生産用・業務用機械	13.3	30.1	6.8	8.6	9.3	10.7
化学	12.2	3.6	1.6	1.9	1.1	5.2
電子部品・デバイス	8.8	7.5	4.7	8.2	3.4	1.5
食料品・たばこ	6.8	4.7	0.1	3.0	12.5	9.7
鉱工業	100.0	10.5	2.8	2.3	0.3	1.8

(備考) 1. 2015年=100、季節調整値。中国の最新月は速報値。
2. 全国及び中国の大線は中心3か月移動平均。
直近月は2か月平均。

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
2. 1 - 3月期、3月は速報値。

2. 個人消費の動向

個人消費は底堅く推移している。

(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

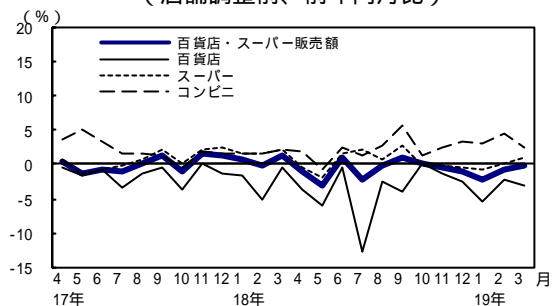
1月は前月比2.4%増、2月は同2.2%減、3月は同0.7%減となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店は、1月は、暖冬の影響で冬物衣料品やスカーフ、ストールなどが苦戦し、前年を下回った。2月は、暖冬の影響で冬物衣料品などが苦戦し、前年を下回った。3月は、寒暖差の影響で春物衣料品が苦戦し、前年を下回った。

スーパーは、1-3月期は、花粉症対策関連商品や入学、新学期関連商品が好調で前年を上回った。

百貨店・スーパー販売額等
(店舗調整前、前年同月比)



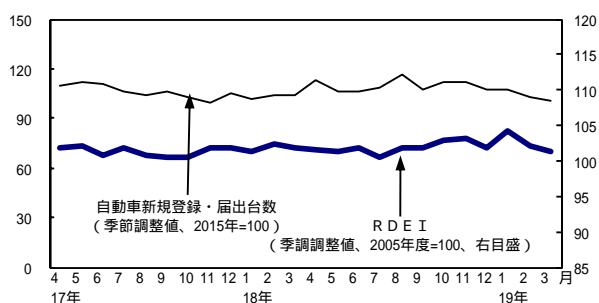
	2019年1-3月	2019年1月	2月	3月
RDEI (消費*1)	0.1	2.4	2.2	0.7
百貨店・スーパー(*2)	0.9	2.1	0.7	0.1
百貨店(*2)	3.6	5.3	2.3	3.0
スーパー(*2)	0.1	0.8	0.0	1.1
コンビニ(*2)	3.2	3.0	4.6	2.3
乗用車(*3)	2.7	3.9	0.6	7.9
(季節調整値)(*3)	7.2	0.9	2.7	6.0

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

3. 乗用車は、新規登録・届出台数 (上段は前年同期(月)比 (%))

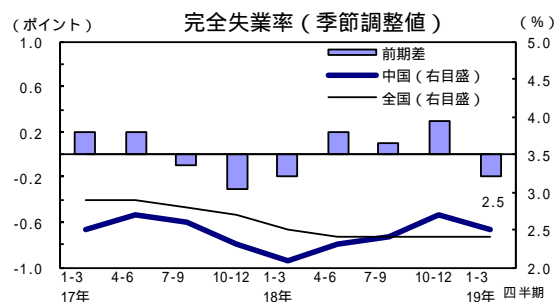
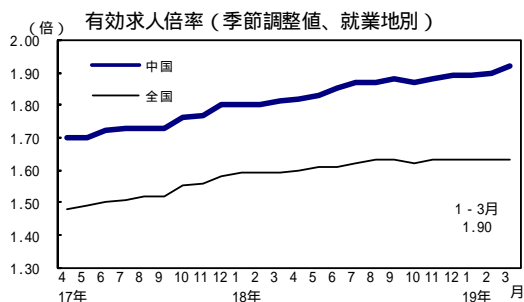
RDEI (消費)と自動車新規登録・届出台数の推移



3. 雇用情勢

雇用情勢は着実に改善している。

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前期を下回っている。



(備考) 内閣府にて季節調整をおこなったが、季節性が認められなかったことから、原数値と同じ。